

6月

ふれあいルーム便り

通所介護・地域密着型認知症対応型通所介護

医療法人社団芙蓉会 デイサービス ふれあいルーム 2022年6月15日 No.321

フルーツバイキング

6月のイベントでフルーツバイキングを行いました。感染対策を取りながらの実施となりましたが、色とりどりに飾られたフルーツの盛り合わせをワゴンに乗せて席をまわり、好きなものをスタッフが取り分けしました。フルーツサンドは初めて召し上がる方もいらして大好評、お腹いっぱいフルーツを召し上がっていただきました。スイカの器や綺麗に飾られたフルーツがワゴンで運ばれると、いつもと違った特別感があり、自分の順番が来るまでのワクワク感や選ぶ楽しさ、みなさんの笑顔でいっぱいの時間になりました。



ふれあい カイコを飼う

生活相談員 森 繭子

ふれあいルームでカイコを育てる事になりました。まずはカイコの成長について。カイコは卵から生まれます。生まれたては黒い糸くず状です。



卵から生まれた時

- 1齢（～4日目位に脱皮） → 白くなってイモ虫の形になる。
 - 2齢（3～7日目位に脱皮）
 - 3齢（8～11日目位に脱皮）
 - 4齢（12～17日目位に脱皮）
 - 5齢（15～25日目位に脱皮） → 成長の中でモリモリ一番食べる時期。
- } 成長してくわの葉を食べます。

カイコの食べるくわの葉は、くわの葉でもフワフワしているものはあまり好みません。ザラザラしていて薄くて色が濃くない物を好んで食べます。まだまだ可愛いカイコ。これからも成長を見守りながらお伝えしていきます。

ちなみに我が羽生ホーム長…カイコがとても気になるようで、暑さや、くわの葉が足りているか、鳥に食べられてしまわないか等々、お休みの日でも見に来る勢いです。



4齢の時
食欲旺盛の育ち盛り



レクリエーション

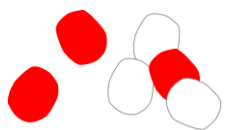
お一人お一人の「個」を大切にしながら、他の方とのコミュニケーションを生み、促進するのがレクリエーションです。たくさんの方が集まると活気が出て、いつもと違う雰囲気を分かち合うことができます。そして、新しい出会いやつながりが生まれ、人とのふれあいは生きがいを創出するきっかけとなり、認知症予防にもつながるといわれています。「あっという間に時間が過ぎてしまった」「楽しくて身体の痛みも忘れてしまっていた」「また今度もあれをやりたい」と笑顔を見せてくださいます。レクリエーションには、心身の機能の向上や笑顔と生活の張りを保つ効果があるのです。



手先を使って制作



紫陽花の季節になり、ふれあいルームの壁面も紫陽花でいっぱいになりました。今回の壁面飾りは折り紙を折ってからのカットが難しく、お互い上手くできた、できないなど話をしながら教え合い完成させました。手先の運動のほか、「つくる喜び」「できる喜び」といった達成感にもつながります。



体を使ってゲーム

何気なく参加しているレクリエーションですが、そこには高齢者の体をしっかりと動かすという目的があります。

お一人お一人

の身体機能に合わせたやり方で適度な運動を行うことで、老化現象の進行の改善、寝たきりの防止などの効果が期待できます。



風船バレーでは、まだ風船が来ていない方にパスするなど
思いやりの優しさを感じました



玉入れはチーム対抗戦です
絶対に負けないと毎回盛り上がります



ふよう病院

医療法人社団芙蓉会

ふれあいルーム

〒194-0005東京都町田市南町田3-43-1



042-788-3302



042-788-3303

FAX番号が変わりました

ご利用日の案内

月曜～土曜日、祝祭日
9:30～16:00
日曜日はお休みです